



## 木下 隆也

「アコーディオン」という名前が初めて歴史上に登場したのは1829年のことでした。最初のアコーディオンはほんとうに小さな楽器で、たった五つのボタンで演奏されるものでした。それから多くのアコーディオン職人たちが楽器を改良し、進化させてきました。そして1930～40年ごろ、「フリーベースシステム」を持ったアコーディオンが誕生しました。これが後に、「一流の」「最高水準の」という意味もある「クラシック」という形容詞を冠して「クラシッカアコーディオン」と呼ばれる楽器となるのです。そして現在、ヨーロッパ各国の音楽大学には「クラシッカアコーディオン科」が設立されるまでになり、クラシッカアコーディオンの研究、普及は加速度的に増していっています。

classic accordionist  
Ryuya Kinoshita

# クラシッカアコーディオン


木下 隆也 (きのしたりゅうや) 1980年生まれ・福岡県北九州市出身  
クラシッカアコーディオニスト

2001年からイタリア国立音楽院 (Conservatorio di Musica "Niccolò Piccinni") クラシッカアコーディオン科に留学。Francesco Palazzo氏に師事する。2010年12月、同音楽院におけるクラシッカアコーディオン科の最終課程、Diploma accademico II Livello "ディプロマ アッカデミコ セコンドリヴェッロ" を最優秀の成績 (110/110 con Lode) で卒業。

Francesco Palazzo, Patrizia Angeloni, Ivano Battiston, Frederic Deschamps, Stefan Hussong, Massimiliano Pitocco, Matti Rantanen, Germano Scurti, Mika Vayrynen, 各氏に師事。

2010年、イタリアで行われた音楽コンクール "Giovani Musicisti 2010" アコーディオン部門 (年齢制限無し) の部 第1位。

2010年12月帰国。現在、地元福岡を拠点に《クラシッカアコーディオンの紹介》という初歩の段階から現在のヨーロッパにおける《クラシッカアコーディオンの最先端》までの幅広い演奏活動を展開。日本独自のクラシッカアコーディオン音楽発展を目指している。また、イタリアのアコーディオンメーカーと Francesco Palazzo 氏と共に、次世代アコーディオンの開発に取り組んでいる。

クラシッカアコーディオン  
についての詳しい情報は  
こちらまで 

クラシッカアコーディオンラボ  

<http://homepage.mac.com/ryuya.fisa/>

福岡アコーディオン教室  

[http://web.mac.com/ririmari/classic\\_accordion\\_laboratory/](http://web.mac.com/ririmari/classic_accordion_laboratory/)

お問い合わせ [ryuya.fisa@mac.com](mailto:ryuya.fisa@mac.com)



イタリア・ミラノ市中、ガッレリアでの演奏風景